

## 我が国のユネスコ活動の更なる広報普及に向けて (骨子案)

平成30年7月20日

日本ユネスコ国内委員会普及活動小委員会

### 1. 我が国のユネスコ活動の広報普及の現状と課題

- 我が国は、戦後70年近くに亘り、UNESCO、政府（日本ユネスコ国内委員会）、民間（ユネスコ協会、大学、ユネスコスクール、その他民間団体）が一体となって、ユネスコ憲章の理念を実現するために、ユネスコ活動の実践と広報普及に努めてきた。
- その結果として、民間ユネスコ活動は全国的な発展を遂げ、世界遺産をはじめとした様々なユネスコ事業が普及し、また学校で（ユネスコスクール等）、地域を挙げて（岡山市や大牟田市（ESD）等）、ユネスコ活動の実践が行われ、それらの実践が様々な分野・レベルでのユネスコ活動のネットワークを通じて広く知られるようになった。
- 一方で、民間ユネスコ協会の数は全盛期の302から278に減り、会員の高齢化や活動の縮小が課題となっている。また、ユネスコスクールの分布をはじめ、ユネスコ活動の地域的な偏在が認められる（別添）。さらに、企業をはじめ一部のステークホルダーへのアプローチが十分ではない。加えて、上記にあげた広報普及や実践を行う主体間の連携も十分とは言えない。
- SDGsをはじめ、様々な社会規範や達成目標が生まれ国内で主流化していく中、ユネスコ活動の意義や目標をどのように位置付け、どのようなメッセージを誰に対してどのような方法で広報普及していくのかを明確にし、戦略的に実施していく必要がある。

## 2. 我が国のユネスコ活動の更なる広報普及に向けて

- これまでは点や線における取組が中心であったが、今後は面全体を様々なユネスコ活動で覆うことが重要である。また、質的な面も重視して、中身の詰まった重層的なユネスコ活動の展開を目指す必要がある。
- 特に広報については、戦略的発信の強化や、戦略的広報普及を推進する連携体制の構築が必要である。

### (1) 戦略的発信の強化

- ユネスコ活動に関する認知度などのエビデンスに基づいた戦略的発信が必要である。

(具体的な方策)

- ○○○…
- ○○○…
- ○○○…

- 様々な主体・層（学校、自治体、企業、ユース等）にユネスコ活動に共感をもってもらい協力を得るため、ユネスコ活動の目標やこれまでの成果、及びSDGsやESDとのつながり等を分かりやすく発信することが必要である。

(具体的な方策)

- ○○○…
- ○○○…
- ○○○…

- 特に民間企業・経済団体では、企業行動憲章やESG投資の広がりを通じてSDGsが高い関心を集めており、この流れを捉えてユネスコ活動への共感と協力（寄付等）を得ることが重要である。また、そのためのファンドレイジング能力の向上等が必要である。

(具体的な方策)

- ○○○…
- ○○○…
- ○○○…

- ユネスコ活動の地域的偏在の改善等に向けた、地域ブロック別の中長期的な視点に立った広報普及戦略を立てて実行する。

(具体的な方策)

- ○○○…
- ○○○…
- ○○○…

## (2) 戦略的広報普及を推進する連携体制の構築

- 広報普及活動を担う関係者の連絡のためのネットワーク構築

日本ユネスコ国内委員会が、文部科学省ユネスコ活動関係課、ユネスコ協会(連盟)ほか関係民間団体、国連機関(国連大学、国連広報センター等)、大学、教育委員会、教育、民間企業等の広報普及活動を担う関係者の連絡のためのネットワークを構築し、ユネスコ活動に関する情報の収集・提供を推進する。

- 報道関係者への効果的な情報発信のための連携

記者クラブ発表などの報道対応については、各関係主体と連携して効果的な広報が行われるように再検討する。ユネスコ登録事業自治体の関心の高まり等を活用し、短期的ではなく、息の長いユネスコ活動への関心を喚起していく。

(具体的な方策)

- ○○○…
- ○○○…
- ○○○…

# 全国のユネスコスクールの分布状況

2017年10月現在

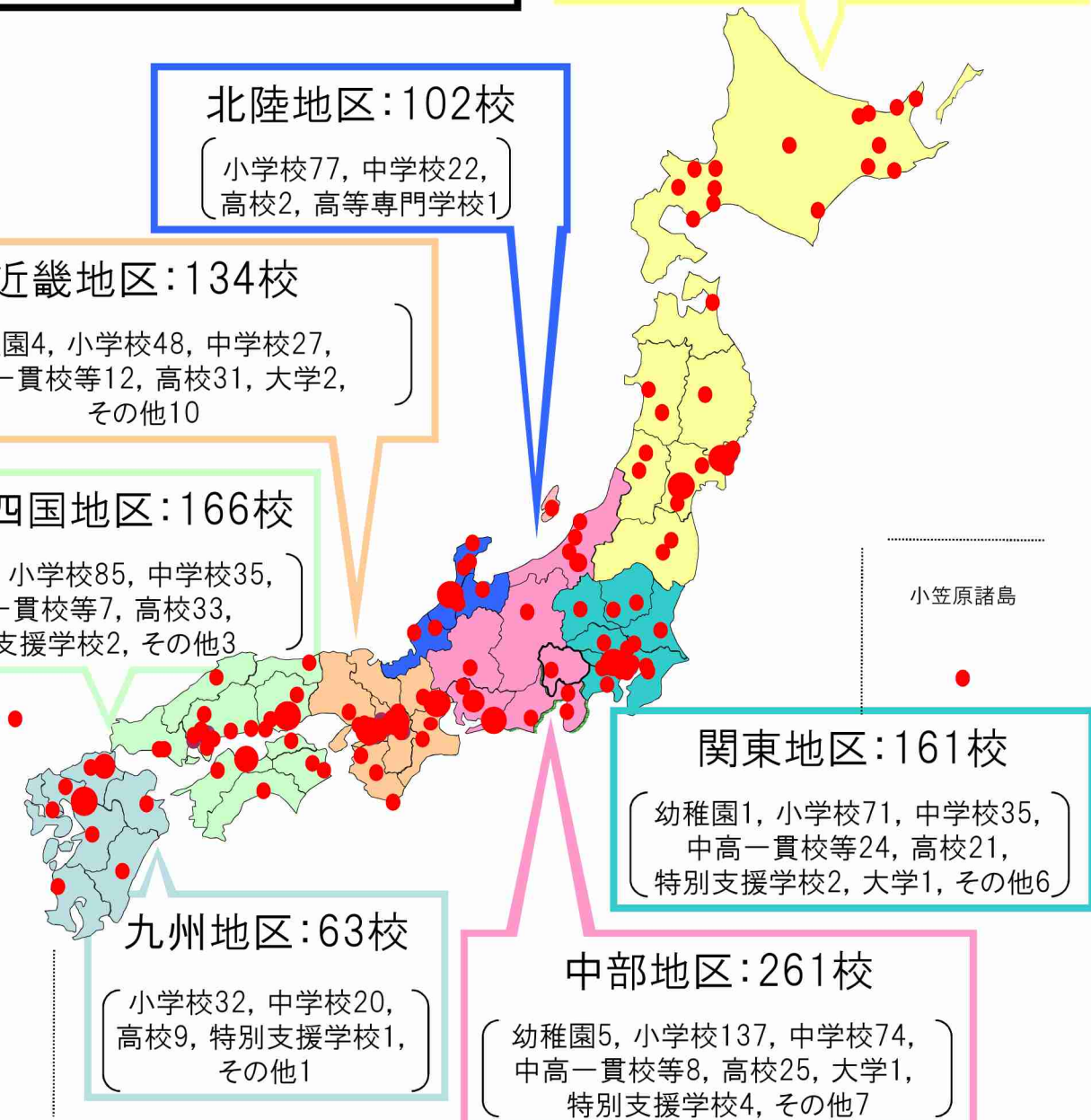
**日本全国:1034校**  
 (幼稚園20, 小学校520, 中学校249,  
 中高一貫校等54, 高校145, 大学5,  
 高等専門学校1, 特別支援学校9, その他31)

**北海道・東北地区:147校**  
 (幼稚園9, 小学校70, 中学校36,  
 中高一貫校等3, 高校24, 大学1,  
 その他4)

**北陸地区:102校**  
 (小学校77, 中学校22,  
 高校2, 高等専門学校1)

**近畿地区:134校**  
 (幼稚園4, 小学校48, 中学校27,  
 中高一貫校等12, 高校31, 大学2,  
 その他10)

**中国・四国地区:166校**  
 (幼稚園1, 小学校85, 中学校35,  
 中高一貫校等7, 高校33,  
 特別支援学校2, その他3)



**関東地区:161校**  
 (幼稚園1, 小学校71, 中学校35,  
 中高一貫校等24, 高校21,  
 特別支援学校2, 大学1, その他6)

**九州地区:63校**  
 (小学校32, 中学校20,  
 高校9, 特別支援学校1,  
 その他1)

**中部地区:261校**  
 (幼稚園5, 小学校137, 中学校74,  
 中高一貫校等8, 高校25, 大学1,  
 特別支援学校4, その他7)

参考:ユネスコスクール数の推移 (単位 校)

1956年度	1960年度	1965年度	1970年度	1990年度	2000年度	2005年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
6	27	22	25	21	20	19	24	78	152	277	367	550	705	913	939	1008	1034